

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第1節 がん

とりまとめ担当課：がん・疾病対策課

1 課題に対するこれまでの取組実績

| |
|--|
| <p>(1) がんの未病改善</p> <ul style="list-style-type: none"> → 未病センターの新規認証 (H30 : 7箇所) → 地域禁煙サポート相談を実施 (H30 実施回数 : 延 25回 相談者 : 延 668人) → 卒煙サポートセミナーの開催 (H30 開催回数 : 1回 参加者 : 31人) → 「受けましたか?がん検診」リーフレットの配布 (H30 : 50,000部配布) → 神奈川県がん対策推進員の認定 (H30 : 104人認定) → がん検診企業研修の実施 (H30 : 開催回数 20回、参加者数 296名) → 各分科会 (胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がん) の開催 (H30 各分科会 : 1回開催) → 生活習慣病検診従事者研修会の開催 (H30 1回(全3日間)開催 参加者 : 延 67人) |
| <p>(2) がん医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> → 手術件数 (H30 : 3,365件)、外来薬物療法件数 (H30 : 23,458件) → 重粒子線治療件数 (H30 : 271件) → リハビリテーション件数 (H30 : 2,528件) → 漢方サポートセンター外来患者数 (H30 : 3,528人) → がん相談件数 (H30 : 8,381件) → アピアランスサポート件数 (H30 : 968件) → H30.4.1 茅ヶ崎市立病院を指定 (湘南東部の2次医療圏では初の指定病院) |
| <p>(3) がんとの共生</p> <ul style="list-style-type: none"> → H30 : 横浜市立市民病院・新百合ヶ丘総合病院が令和元年度完成に向け緩和ケア病棟を整備中 → 緩和ケア研修会開催 (H30 : 813回) → 相談支援部会において研修会を実施 (H30 : 3回) |

2 目標値の推移

| 名称 | 単位 | 策定時 | 実績値 (H30) | 達成目安 | 目標値 (R5) | 達成率 (%) | 備考 |
|--|----|--|--|--|-------------------------|---|---|
| がん検診受診率の 向上 | 割合 | 胃がん 41.8% 大腸がん 42.2% 肺がん 45.9% 乳がん 45.7% 子宮頸がん 44.6% (平成 28 年国民生活基礎調査) | — | 胃がん 45.3% 大腸がん 45.5% 肺がん 47.1% 乳がん 46.9% 子宮頸がん 46.1% (H30) | それぞれのがん種 において 50% | ○ 胃がん 92.2% 大腸がん 92.7% 肺がん 97.4% 乳がん 97.4% 子宮頸がん 96.7% | 国民生活 基礎調査 は 3 年に 1 度実施 |
| 精密検査受診率の 向上 | 割合 | 胃がん 74.5% 大腸がん 61.7% 肺がん 77.7% 乳がん 84.9% 子宮頸がん 68.9% (平成 27 年度 地域保健・健康増進事業報告) | 胃がん 75.3% 大腸がん 63.6% 肺がん 76.9% 乳がん 88.0% 子宮頸がん 73.6% (H28) | 胃がん 77.0% 大腸がん 66.4% 肺がん 79.7% 乳がん 85.7% 子宮頸がん 72.4% | それぞれのがん種 において 90% | ○ 胃がん 32.0% 大腸がん 44.4% 肺がん 0.0% 乳がん 387.5% 子宮頸がん 134.3% | |
| 緩和ケア病棟を有 する病院が整備さ れている二次保健 医療圏数 | 施設 | 9 医療圏のうち 8 医療圏に 整備 (未整備：川崎 北部) | 8 医療圏に 整備 | 8 | 9 医療圏 の全てに 整備 | ◎ 100% | 令和元 年度中 で、9 医療圏 全てに 整備 予定 |

3 参考指標の推移

| 指標名 | 単位 | 神奈川県内 | | | | | 参考指標を 設定した理由 | 備考 |
|-----|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----------------|----|
| | | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | | |
| | | | | | | | | |

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) がんの未病改善

| 評価 | A ・ B ・ C ・ D |
|------|--|
| 評価分析 | <p>ア がん検診受診促進（がん検診受診率及び精密検査受診率の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診リーフレットの配布や神奈川県がん対策推進員の認定を通じて、がん検診受診促進を進めている。 精密検査受診率の数値目標の達成状況については、目標に達成していないがん種については、現状を把握したうえで、取組みを検討する必要がある。 |
| | <p>イ がん検診の精度管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 5大がんごとの分科会の実施やがん検診従事者を対象とする研修により、課題を把握するとともに、少しずつではあるが進めている。 |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> がん対策推進員の増員や企業連携は着実に進んできている。 がん検診の受診率及び精密検査受診率の向上のためには、市町村や検診機関、企業等との連携をさらに強化する必要がある。 |

(2) がん医療の提供

| 評価 | A ・ B ・ C ・ D |
|------|--|
| 評価分析 | <p>ア がん医療提供体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立がんセンターにおけるがん医療の提供体制は、着実に進んでいる。 神奈川県がん診療連携指定病院がなかった2次医療圏に、神奈川県がん診療連携指定病院を指定できた。 |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県がん診療連携指定病院が増えたことで、当該2次医療圏でのがん医療の提供体制が推進できた。 |

(3) がんとの共生

| 評価 | A ・ B ・ C ・ D |
|------|--|
| 評価分析 | <p>ア 緩和ケア病棟の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア病棟のない2次医療圏において、緩和ケア病棟の整備が進んでいる。 緩和ケア病棟は完成していないため、数値目標における進捗はみられない。 |
| | <p>イ 緩和ケアに係る人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院等で緩和ケア研修会を年1回以上の開催を継続している。 |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアに係る人材育成については、緩和ケア研修会を受講した医療従事者が着実に増加している。 |

5 総合評価

| 評価 | 評価理由 |
|----------|--|
| B | <ul style="list-style-type: none">がん検診受診促進については、取組みは進めているが、数値目標のあるがん検診精密検査受診率においては、効果があったとは言い難い。神奈川県がん診療連携指定病院の新設により、当該医療圏におけるがん医療提供体制の充実が図られた。 |